

2025 年度

授業概要

科目名	義肢装具療法演習I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 義肢装具療法演習では、講義とグループワークにもとづいて2年次に学んだ義肢装具について、それらが必要とされるCASEについて幅広く知識を習得することを目的とする。装具演習では特に各疾患に対する装具治療の役割を把握し、実際どのように行われるのかを知る。							
〔授業全体の内容の概要〕 CASEに対してグループワークとディスカッションを中心に行う。考察した内容は教員、学生からの質問に対して、その場で口頭にて答える。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 【義肢】 下腿義足/大腿義足に関し、適切なアライメントや適合の基準が述べられる。 【装具】 装具療法が必要な各疾患について説明できる。また、各疾患に対する装具療法の役割を説明できる。 【基礎医学】 基本的な解剖学的知識と適切な医学的用語を用いてプレゼンテーションを行う事ができる。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション。2年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY						
2	2年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY						
3	2年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY						
4	2年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY						
5	2年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY						
6	2年次に学んだ義肢装具に関する疾患に対するCASE STUDY						
7	装具実習Ⅰ（体幹装具）に関するCASE STUDY						
8	装具実習Ⅰ（体幹装具）に関するCASE STUDY						
9	装具実習Ⅰ（体幹装具）に関するCASE STUDY						
10	装具実習Ⅰ（体幹装具）に関するCASE STUDY						
11	装具実習Ⅱ（下肢装具）に関するCASE STUDY						
12	装具実習Ⅱ（下肢装具）に関するCASE STUDY						
13	装具実習Ⅱ（下肢装具）に関するCASE STUDY						
14	装具実習Ⅱ（下肢装具）に関するCASE STUDY						
15	装具実習Ⅱ（下肢装具）に関するCASE STUDY						
16	装具実習Ⅱ（下肢装具）に関するCASE STUDY						
17	装具実習Ⅲ（足底装具）に関するCASE STUDY						
18	装具実習Ⅲ（足底装具）に関するCASE STUDY						
19	装具実習Ⅲ（足底装具）に関するCASE STUDY						
20	装具実習Ⅲ（足底装具）に関するCASE STUDY						
21	義肢実習Ⅰ-2（下腿義足:TSBなど）に関するCASE STUDY						
22	義肢実習Ⅰ-2（下腿義足:TSBなど）に関するCASE STUDY						
23	義肢実習Ⅰ-2（下腿義足:TSBなど）に関するCASE STUDY						

2025 年度

授業概要

科目名	義肢装具療法演習I			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制2年	必修・選択	必修
回数	講義内容						
24	義肢実習Ⅰ-2 (下腿義足:TSBなど) に関するCASE STUDY						
25	義肢実習Ⅲ (大腿義足:四辺形) に関するCASE STUDY						
26	義肢実習Ⅲ (大腿義足:四辺形) に関するCASE STUDY						
27	義肢実習Ⅲ (大腿義足:四辺形) に関するCASE STUDY						
28	義肢実習Ⅲ (大腿義足:四辺形) に関するCASE STUDY						
29	総まとめ						
30	総まとめ						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
義肢装具学 第4版	川村次郎他	医学書院
装具学 第4版	飛松 好子他 編	医師薬出版株式会社
運動器疾患とリハビリテーション第2版	加倉井 周一他	医師薬出版株式会社
標準整形外科学 第12版	松野丈夫他	医学書院
義肢学第3版	澤村 誠志	医歯薬出版(株)
義肢製作マニュアル第2版	田澤 英二	医歯薬出版(株)

【 単位認定の方法及び基準 (試験やレポート評価基準など) 】

試験 (終講試験・中間試験・小テスト) により認定する。
